

---

## 編集後記

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に被災された方々に、心からお見舞いならびにお悔やみを申し上げます。

さて、本巻では古くて新しいテーマである「褥瘡」を中心に取り上げました。古くは南宋時代に著された「通志」(1161年)に「病杖牀褥瘡=病気で臥していて褥瘡になる」という記載があり、「褥瘡」は古くから認められていた病態であることが伺える。そして近年では2020年にDESIGN-R®からDESIGN-R®2020への改定、また2022年に「褥瘡予防・管理ガイドライン」が第5版として改訂されたことに鑑みると、褥瘡の評価や治療は時代とともに常にアップデートされている。

日々の医療や介護の現場では、患者や利用者に関わる全てのスタッフが自身の職種に関係なく、患者や利用者に対して細かな気配りすること(care)、そして得た情報を互いに共有することが褥瘡の早期発見や予防にとって非常に重要である。しかし基本的な当たり前の事を当たり前のように継続していくことは決して簡単なことではなく、全てのスタッフが高い意識を持ち続けてこそ、その継続を得ることが可能である。

全ての医療・介護現場で、そのようなチームワークが遂行できることを切に願うばかりである。

令和6年2月3日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人代表 木村篤史

---

---

京都在宅リハビリテーション研究会誌

第17巻

令和6年2月3日 発行

編集者

京都在宅リハビリテーション研究会事務局

(木村篤史, 永山智貴, 小西倫太郎, 神田佳明, 森川重幸, 堀田直樹,  
浅野翔平, 村富渚, 川勝紅葉, 高屋真奈, 西川貴英)

発行者

木村篤史

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

Tel 0771(72)1221